

設 立 趣 旨 書

1. 設立の動機

現代の地域社会では、子どもが自然に触れる機会の減少や、地域住民同士のつながりの希薄化が課題となっています。

私たちはその解決策として「農」を介した活動に着目しました。

野菜を育て、収穫し、分かち合う体験は、子どもたちに自然と食の大切さを学ぶ機会を与えるだけでなく、大人・高齢者・外国籍住民など多様な人々にとっても交流の場となります。

こうした共同活動は世代や文化の垣根を越えて関係を育み、地域の活力向上と持続可能な社会づくりに寄与します。

この理念のもと、私たちは「農を通じて子どもから地域を元気にする」取り組みを継続的に進めるため、NPO法人の設立に至りました。

2. 法人として行おうとする活動

1) 農業体験・食育活動

子どもや地域住民を対象に、栽培から収穫までの体験学習や食育活動を実施する。

2) 世代間・多文化交流の促進

農作業、収穫祭、地域イベントなどを通じて、世代や文化を越えた交流と協力を育む。

3) 地域コミュニティの活性化

「農」を介した協働により、地域課題の解決や互助の仕組みづくりを進める。

4) 子どもの健全育成・学習支援

自然体験や環境学習を通じ、子どもの主体性や協働性を育む。

5) 環境保全・資源循環の推進

堆肥化や地域資源の活用など、持続可能な暮らしにつながる実践を広げる。

6) 今後の展開

自治会・学校・福祉団体・農家等と連携し、食育や交流イベント、リモート農業などの新しい参加モデルを展開し、将来的には地域主導で継続できる形を目指す。

3. 公益に寄与する内容

本活動は、農を通じた協働・交流により以下の公益に寄与します。

- ・ **健康的な食生活の促進**：地域で収穫した安全な野菜の活用を広げ、食育を通じて健康意識を高める。
- ・ **社会的つながりの強化**：多世代・多文化の参加を促し、孤立防止と地域の包容力向上につなげる。
- ・ **地域の自立性向上**：地産地消、防災共助ネットワーク、市民参加型農業など、地域の持続的発展に貢献する。

4. なぜNPO法人として設立するのか

多様な人々が対等に参加し、継続して協働するためには、透明性・公益性を備えた組織体制が必要です。

NPO法人格を得ることで、寄附や助成金の受け入れ、行政や地域団体との協働が可能となり、活動の信頼性と持続性が高まります。

これらにより、地域に根ざした公益活動を安定して推進する基盤が整います。

以上

令和7年10月7日

法人の名称 NPO法人 未来鎌倉をつくる会

設立代表者 張替 克之